

自治大卒業生の声

自治大学校卒業生（第2部課程第192期）

北海道由仁町 山口 明久

編集者注：本稿は、自治大学校における研修の特長などについて、自治大学校の卒業生が記したものです。

1 はじめに

私は、基本法制研修Bと第2部課程に参加するため、令和3年5月11日に入寮しました。慣れない地での寮生活、特に健康面では新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で無事に過ごせるか不安な気持ちを抱え、約3か月の自治大学校生活が始まりました。

2 研修に当たって

東京への出発前、現町長をはじめとした自治大研修生OBの先輩達から、「全国各地の同世代の仲間と刺激し合い共に学んでください。」との助言をいただきました。

貴重な機会を与えていただいたことに感謝し、私なりの目標を『仲間とのネットワークづくり』として本研修に臨みました。

3 基本法制研修B第6期

地方公務員として必要な基本的知識の習得のため、行政法、民法、地方自治制度、地方公務員制度及び地方税財政制度の5課目を、約3週間で集中的に学ぶ場でした。

短期間であることから、講義の進度は早く、あっという間に効果測定の日になっていたことが思い出されます。

改めて、法律関係の知識を学ぶ機会をいただき、普段から初心を忘れず、一つ一つ法令に定める手続きを確認しながら進めることの重要性を、再認識できた大変意義深いものでした。

4 まさか自分が・・・

基本法制研修B修了から第2部課程開始までの休講期間中の出来事です。体調に異変を感じたため医療機関を受診し、念のため新型コロナウイルス感染の検査を行ったところ「陽性」となり、自治大関係者の皆様、寮生活を共に送っている研修生に迷惑をかけてしまいました。ただ一つの救いが、マスク着用、ソーシャルディスタンス確保、換気等の対策により、他の研修生に感染が広がらずに済んだことでした。

私自身は、6月14日までホテル療養となりましたが、結果として症状は軽く、事無きを得ることができました。

5 第2部課程第192期

① オンライン参加

第2部課程がスタートした6月9日、私はホテル療養の最中でしたが、自治大の配慮により、オンラインで講義に参加させていただくことができました。

その中でも政策立案演習と事例演習は、オンラインという慣れない環境の下で、限られた手元資料でどのように議論すればよいか不安の中での参加でしたが、班員のサポートをいただきながら対面と遜色なく進めることができました。

② 療養を終えて本格参加

第2部課程の大きな柱は、政策立案演習です。42時限の中で最終的に首長への提言を想定して政策形成の一連の流れを、研修生5人により実践するものです。

テーマ設定に始まり、現状把握・分析、課題抽出、根拠立て、政策提言…。夢物語ではなく実際の政策として成り立つものである

ことを前提に、一つ一つ議論を重ね、知恵を出し合いました。

班員の5人は、それぞれ地域や組織の規模、業務経験も異なる中で、はじめは目指すべき方向性を探るべく議論が一進一退した場面も見受けられましたが、時間の経過と共にイメージが共有されていきました。メンバーそれぞれの強みを生かし、互いに支え合いながら、限られた時間の中で報告書をまとめ、最終日の発表会に臨みました。

発表の結果、優秀賞受賞の達成感は大きく、全員で喜びを分かち合いました。



政策立案演習優秀賞受賞

6 仲間という財産

人生初の寮生活を送り、寝食を共にした同じフロアの仲間や政策立案演習の班の仲間と、真面目なことから馬鹿げたことまで色々な話をすることでお互いを分かり合い、多くの時間を共有しました。

自分自身46歳となり人生後半になったにもかかわらず、新たに多くの仲間に出会えたことは何ものにも代え難い貴重な経験であり、掛け替えのない財産となりました。



卒業式前日のお別れ会

卒業してしまうと簡単に会えるものではありませんが、全国各地で活躍している姿を思い浮かべながら、次に会える日を楽しみに待っています。

7 おわりに

よく「仕事と人生」には三つの坂があると言われ、上り坂、下り坂とは違う、三つ目の坂の“まさか”に、今回の研修生活で新型コロナウイルス感染という形で出くわすとは思ってもいませんでした。

この“まさか”によって、自治大関係者の皆様、寮生活を送っている研修生の仲間になかなかご迷惑をお掛けし、また、派遣元の職員、家族には心配を掛けました。

家庭や職場から離れ、寮生活という特殊な環境の中で研修を通じて学んだことは、世の中は人と人との絆や支え合いがあって成り立ち、何気なく送っている日常生活自体が「人とのつながり」あつてのことだと改めて感じました。



洗心寮6階のメンバー

多くの方々の支えにより、無事に卒業することができました。

今後は、この研修で得たものを同僚や部下に伝えていく使命があると深く心に刻み、地域の福祉向上へ貢献すべく、公務に取り組んでまいります。